

専門学校 桑沢デザイン研究所
オープンセミナー



さあ、 村へ帰ろう

It's a time to go back to village

～世界の「村」のデザインから、生きる姿勢のセンスを磨け！～

インドネシアのプロダクトデザイナーであり、ソーシャルデザイナーであるシンギー・カルトノ氏の来日にあたり、地域の持つ資源を活かした地域活性化のモデル〈magno - マグノ〉と〈spedagi - スペダギ〉、そして、現在、氏が最も力を入れている〈ICVR - 国際ヴィレッジ会議〉についてを語ります。シンギー氏のメッセージは、デザインの専門性から社会に対して何ができるかという具体的な事例を示すとともに、勇気づけられるものとなるでしょう。



magno®
magno

申込不要
参加無料
定員：150名

2016
8/19th
Tue 火

18:30 - 20:30

受付 18:00 より



Singgih S. Kartono

シンギー・カルトノ

会場 | 桑沢デザイン研究所
1F P1 ホール

専門学校 桑沢デザイン研究所
東京都渋谷区神南 1-4-17
JR 渋谷駅ハチ公口より徒歩 15 分、原宿駅表参道口より
徒歩 7 分

プロダクトデザイナー、magno 設立者、piranti works 代表

インドネシア・ジャワ島の西方にあるバンドン工科大学でプロダクトデザインを学ぶ。卒業論文のテーマ「インドネシアのハンドクラフト技術を用いたラジオレシーバーのデザイン」で、1997 年度 International Design Resource Award 受賞。(現在販売されている magno 木のラジオの原型) 卒業後、ハンドクラフトを専門とする企業のデザイナーとなり、2003 年に工房 piranti works を設立。地元農村に住みながら現地の木材資源を活用した製品デザインを行う。地域住人を職人として起用し技術教育と雇用促進を行っている。また、会社の売上げから原料となる木材の保護育成活動も行っている。magno シリーズは現在、日本をはじめヨーロッパ諸国やアメリカでの販売を開始し、好評を得ている。

主催：専門学校桑沢デザイン研究所

後援：一般社団法人スペダギジャパン

KUWASAWA
KUWASAWA DESIGN SCHOOL



Amber

